

【研修事業】

チームの機動力を生かして、多種多様なコースを企画しています！

関西国際センター（KC）では、長期・短期合わせて年間約 30 コースの日本語研修が実施されています。KCの日本語研修の特徴は、まず参加者が多国籍、多文化であること。また日本語レベルもゼロ初級者から上級者まで幅広いこと。そして世界のニーズを反映して、多様な目的を持った研修が行われていることです。例えば、世界で日本語を勉強している高校生たちが集まって日本の高校生と交流する研修や、ノンネイティブの日本語教員と教員志望の学生と一緒に参加する研修、途上国約 30 カ国の若手外交官・公務員のための長期研修など、目的によって研修の内容も方法もさまざまです。

日本語教育専門員はこうした研修を目的に合わせてデザインし、授業や課外活動をアレンジし、教材を準備します。研修が始まると、授業を担当するとともに学習状況に応じてカリキュラムを調整し、交流会や学校訪問などの裏方となり、時には研修参加者の相談に乗ったり悩みを聞いたりもします。研修を担当している専門員は現在 15 人。各研修を 2 名～5 名の専門員で担当し、チームで話し合いながらコースを作っていきます。

職場としての KC のおもしろさは、新しいことに挑戦できる環境にあることです。クラス活動や教授法、評価方法など、研修は時代や参加者に合わせて常に変化しています。昨年は外交官・公務員日本語研修の主教材を『みんなの日本語』から『まるごと日本のことばと文化』に変更し、カリキュラムも副教材も評価も一新しました。こうした大きな改定作業も、チームの機動力を生かして効率よく進めることができます。また研修を通じて、世界の日本語学習者がどんな動機で、何を使って、どのように勉強しているのかを実感することができます。学習者目線の日本語教育を目指して、専門員たちの実践は日々続きます！

